

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%
保護者様： 16名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

一軒家で教室内に段差があり施設のバリアフリー化は十分ではないが、訓練室内の安全管理に努め、和室の押し入れに上がらないように襖を封鎖し、台所に無断で入らないように扉に鍵を取り付けた。職員体制は基準を満たしているが、職員が体調不良で欠勤した際、通所児童数の増加により各職員への負担が大きいと感じることがあった。

○業務改善

毎月教室内で職場会議の時間を設け、前月の療育の振り返りと翌月の活動内容を職員間で共有できた。半年毎に振り返りシートを作成して、自身の業務の振り返りと改善対策をしている。各世帯にアンケート調査を行い、結果はホームページとニュースレターで公開して、サービスの質の向上に努めている。

○適切な支援の提供

祝日や長期休みに課外活動を積極的に取り入れ、社会体験プログラムの充実を図ることができた。送迎前のミーティングの時間を確保することが難しかった際には事務室に情報共有シートを貼り、児童の情報を全職員で共有することに努めている。

○関係機関や保護者との連携

相談支援員と連携を図り、保護者宅で児童対応のケース会議を行った。送迎、更新面談、サービス提供記録等を通して、保護者へ支援の進捗状況や活動の参加状況を詳細に伝えている。ニュースレターの発行、毎月ブログを更新して、支援の内容がより具体的に伝わるように工夫している。

○保護者への説明責任等

ニュースレターを発行して、翌月の療育活動予定をお知らせしている。祝日、長期休みの開室前には別にお便りを発行し配布している。年間2回療育体験会や療育報告会を開催し、活動内容を報告している。

○非常時等の対応

毎月、地震・火災・水害・衛生・不審者等の様々なケースを想定した避難訓練を実施できた。また、年間2回の通報訓練、年間1回の水消火器を使用しての消火訓練も実施している。室内で嘔吐した際、児童の避難場所を事務室から相談室に変更した。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

施設の活動スペースやバリアフリー化の改善は、教室に来室する機会が少ないため、教室内が改善されたことに気づかない。

○適切な支援の提供

- 一つひとつの成長を職員に確認していただくことでステップアップができています。
- 工作などの活動内容を楽しみに通所している。
- 一日パンツで過ごせるように排泄の練習を徹底してほしい。

○保護者への説明等

できること、できないこと、その日の児童の状態を踏まえ、詳細を伝えることができている。

更新面談の際は、じっくり時間をかけて話をしている。

保護者会には日程が合わず一度も参加できていない。子どもを通じて教室の情報確認ができている。

○非常時等の対応

児童が避難訓練の内容をきちんと認識できている。

○満足度

自分からスマートキッズに行きたいと言える場所になってきている。

最近、子どもにとって居心地の良い空間になってきていることが一番嬉しいことだと感じている。

他児や職員と楽しくコミュニケーションを取りながら過ごせている。

本人の発達に合わせた個別課題等を設定して頂けてありがたく思っている。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・児童の特性と保護者様のニーズに合わせた個別支援計画を作成し、療育活動プログラムを計画的に実行し、育児に関する助言等を行うことができている。
- ・個人情報保護の取り扱いは、十分注意できている。
- ・送迎時に学校の先生方と児童の様子を相互に伝達し、連携体制が取れている。

○改善点

- ・生活状況、療育活動内容の周知。
- ・災害時対応の周知。
- ・投薬対応の周知。
- ・教室内の安全管理の周知。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・各世帯に教室の活動内容を周知する資料の作成を行う。
- ・保護者会への参加率を向上させるイベントを計画する。
- ・教室内の安全管理に努め、より安定した教室運営を行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・教室で「三郷第二教室 ご利用マニュアル」を作成し、より具体的な療育活動の周知を行う。
- ・保護者会に参加していただけるようなイベントを企画・実行する。
- ・安全面を考慮した施設改善を行い、児童が安心して通える教室づくりを行う。

スマートキッズ